

主要プロジェクト推進プラン「新東名インパクトを活かした地域振興～広域観光の新展開～」に対する御意見

No.	意見	意見に対する考え方
1	<p>東三河の発展のために高学歴移民を数百万人受けれるべきです。三重県と協力して木曾岬干拓地に日本のアニメのテーマパークかカジノを作るべきです。愛知環状鉄道分岐ルートを建設すべきです。</p>	<p>「2 (3) 基盤・施設の整備促進」など、プランの推進に取り組む上での参考にさせていただきます。</p>
2	<p>本プランは各市町村で行っている事業を取りまとめ、連携させていこうとするものだと理解しました。大きな異論はありませんが2点、提案します。</p> <p>①海の観光資源活用に、もう少し力を入れていただけるとよいと思います。</p> <p>②空から見る東三河というのはいかがでしょうか。例えばヘリポートを設置し遊覧させる、気球での遊覧もいかがですか。もちろん民間事業者を募集してください。</p> <p>ヘリポート等は県所有地の簡易整備とし、許認可は県で取得し、あとは民間に任せるといふ具合です。冬の観光資源に苦慮するところですが、これなら通年誘客ができると思います。</p>	<p>「1 (2) 新東名開通により変化する観光客の動きへの対応」や「2 (1) サービスの質を向上し「稼ぐ力」を創出」など、プランの推進に取り組む上での参考にさせていただきます。</p>
3	<p>観光の質の変化「モノからコトへ」</p> <p>◎固有の自然・文化の体験型観光</p> <p>東三河は、農林水産品の一大産地であることから、消費地の衣食住のプロをターゲットに東三河原産の一次産品の産地を巡る周遊型「原産地観光ツアー」の提案。</p> <p>手つかずの自然ではなく、人の手によって管理された里海、里山の保全再生の成果物としての愛知・東三河の景観、農林水産品を、便利になったからと言って日帰りでは返さず宿泊してもらったかプラン。</p> <p>◎新たな観光資源の発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央構造線など特異な地形 → 東三河ジオパーク構想、ブラタモリ的なおとな観光スポットの整備と連携 ・清流とよがわ、六条瀧、三河湾 → 「里川・里海再生」国際環境学習ツアー ・縄文ハマ貝塚、伝統貝文化(渥美貝づくしPJ) ・四谷千枚田(持続可能な農業) ・名鉄蒲郡線、渥美線沿線の活性化 → 根っこ(環境地理学に根差した)のあるA級グルメ×三河湾クルージング 蒲郡港発、伊良湖港発 ・JR飯田線沿線の活性化 → 秘境駅ツアー ・東三河の原点、地祭 → 羽田祭り、三谷祭、はな祭 <p>◎自然資源を活かした新産業の創出</p> <p>CNF(セルロース・ナノ・ファイバー)の実用化に向けた研究施設の創設</p> <p>10年ほど前に発見されたCNFは、宇宙航空機産業をも凌駕し、日本の森林資源を宝の山に変え得る技術です。</p> <p>誘致合戦は始まっています。ぜひ、新城市か設楽町に！</p>	<p>「1 (2) 新東名開通により変化する観光客の動きへの対応」や「2 (1) サービスの質を向上し「稼ぐ力」を創出」など、プランの推進に取り組む上での参考にさせていただきます。</p>

No.	意見	意見に対する考え方
4	<p>「広域」に拘る故為か、豊橋・豊川・蒲郡市辺りと奥三河山間地の間でかなり「観光」に係る期待値が異なっているにも拘らず、漫然と課題や施策項目が羅列されている感があります。</p> <p>特に「昇龍街道」の企画に曳っぱられ「外人観光客」をターゲットにしたかの如きテーマと、(東三河)地域周遊や地域の特色・特産を謳ったテーマが錯綜していて、東三河として「全国の他地域とは一線を画す・・・といった、何をしたいのか?」が全く見えて来ません。</p> <p>また、宿泊・周遊と近場の体験型との並列は、東三河地域での一体事業構築にも矛盾となっている気がします。</p>	<p>本プランは、平成24年度に策定した主要プロジェクト推進プラン「広域観光の推進」(以下、24プランという。)の後継プランとして策定を進めており、24プランの検証の結果と新東名開通によるニーズの変化を踏まえ、取り組むべき課題の重点化を行っています。</p> <p>東三河の広域観光を進める上での課題は多岐に渡っており、また、地域によって異なります。その中から、ターゲットの絞り込み、滞在時間やリピーターの増加など観光客の増加を収益に結び付ける取組、施設整備や人材不足への対策、インバウンド対応の取り込みなどについて、共通の課題として捉え、東三河の関係機関が連携して検討・対応していくこととしています。</p>
	<p>これだけの課題・取組が羅列されていると、この事業に係る東三河8市町村の人的キャパは果たして十分と云えるのでしょうか？</p> <p>人材育成も然り乍ら、行政・商工会等の組織員数が既に限界となっているかも知れません。</p>	<p>観光人材の不足についても、重要な課題と考えており、「2 観光に関わる基盤の整備と活用」の「(2) 観光案内の質の向上・人材の育成」(中間取りまとめ案21ページ)の取組はこの課題への対応も目的としています。</p>
	<p>東三河は「三遠南信との連携」を折に触れ推進しているにも拘らず、何故かここでは(極一部の連携記述を除き)東三河単独の計画を中心に終始しているのは如何なものか。</p>	<p>三遠南信の連携については、実施にあたって取組主体間の調整が必要となります。</p> <p>主要プロジェクト推進プランは、東三河振興ビジョンに位置付けた施策を具体化し、推進するための実施計画として位置付けられています。このため、実施主体による具体的な調整が行われている事業、もしくは今後行われる事業を掲載しております。</p>
	<p>「観光事業推進」は必ず「多大な人数の集客や収益」に絡ると錯誤して(orさせて)いる。特に中山間地域の観光事業はその(供給)規模や継続性に懸念があり、むしろ観光は「まちづくりのツール」として活用できるかも・・・に過ぎないと捉えておくべき。</p>	<p>プランの推進に取り組む上での参考にさせていただきます。</p>
	<p>新城市では今年、大河ドラマ「直虎」を機に浜松市と連携した催しが企画されている。「歴史」の項目では、例えば「風は山河より」に沿った企画も検討されて良いと考える。</p>	<p>「1 (2) 新東名開通により変化する観光客の動きへの対応」や「2 (1) サービスの質を向上し「稼ぐ力」を創出」など、プランの推進に取り組む上での参考にさせていただきます。</p>
5	<p>観光庁では、市町村を超えた観光の取組を進めるために、観光圏の政策が進められている。東三河という地域の広域観光については、地域としてのブランド名があまりないことから、一体化した観光圏として、国内及び海外に向けて、わかりやすい名前があるとよいように思われる。東三河観光圏や穂の国観光圏など、地域全体が観光地として有機的なつながりをもっていることを、わかりやすく伝えるネーミングが有効であるように思われる。</p>	<p>「1 (3) 新東名開通効果のPR」など、プランの推進に取り組む上での参考にさせていただきます。</p>
	<p>愛知県、東三河は産業の集積地であることから、産業観光をより展開し、雇用機会にもつながるような施策やビジョンがあってもよいと思われる。</p>	<p>「1 (2) 新東名開通により変化する観光客の動きへの対応」や「2 (1) サービスの質を向上し「稼ぐ力」を創出」など、プランの推進に取り組む上での参考にさせていただきます。</p>
	<p>新東名インパクトの検証と活用については、観光客による地域経済へのインパクトの検討もあってもよいと思われる。</p>	<p>「1 (1) 新東名インパクトの検証」など、プランの推進に取り組む上での参考にさせていただきます。</p>
6	<p>主な取組内容の新東名インパクトの検証と活用の中で位置づけていただき、取り組んでみたらどうかと思うことがありますので、提案させていただきます。</p> <p>文化庁の「歴史の道百選」にも指定されている姫街道は、古くから東三河と遠州をつなぎ人々の交流の場となっており、興味深いエピソードを持つ街道脇の史跡とともに貴重な地域資源として遺されています。最近では、姫街道を守り後世に引き継いでいこうとする動きも見られますが、多くの方に知られるまでには至っていないと思います。</p> <p>そこで、姫街道に関わるこうした動きを、この地域の行政が一体となって応援し、さらに姫街道に光が当たるように取り組んでいただきたいと思います。再び往時の交流の場のようにするためには、各地域や</p>	<p>「1 (2) 新東名開通により変化する観光客の動きへの対応」や「2 (1) サービスの質を向上し「稼ぐ力」を創出」など、プランの推進に取り組む上での参考にさせていただきます。</p>

No.	意見	意見に対する考え方
	<p>団体に散らばっている情報を整理したりブラッシュアップしたりする必要があり、大変な労力がかかるかもしれませんが、その過程こそ地域間のつながりが深まり、人の交流も増えると考えます。</p> <p>例えば、姫街道をコースとした駅伝大会やウォーキングイベントの開催、姫街道を題材とした検定の実施、観光案内版の整備、関係団体によるサミット等での交流などはできないでしょうか。</p> <p>特に、遠州地域とは三遠南信地域連携ビジョンに基づき広域的な視点で様々な事業を一緒にやろうとしていますし、最近では、NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」の影響で、遠州を中心として周辺地域が活性化している印象を受けます。姫街道は、東三河地域内外の繋がりを深める可能性を十分に持っていると思いますので、何らかの表現で取組内容に記載していただきますよう、ご検討をお願いします。</p>	
7	<p>東三河の広域観光を打ち出すにあたり、東三河8市町村の地域資源を結びつけた、テーマ性を持つPRの手法について、(特に広域観光を担う協議会を中心に) 研究・実践を進めて行くべきかと思えます。一つ一つの資源は、民間や単体の自治体で精力的にPRしていきますので、それらを繋げる多種多様なテーマ設定について試行錯誤していくことが、今後、さらに必要でしょう。</p> <p>P14にある「食・花・炎」は振興ビジョンで掲げられている素材ですが、特に「食・花」で。全国の先行する地域ブランドと戦っていくのは、相当な戦略を要するのでは(ただ、「炎」は一定の成果を見ているようにも思えます)。</p> <p>個人的には、当地域が地道に訴えるべきは、P17にある「文化・芸術・歴史」ではないかと思えます。</p> <p>様々な切り口がありますが、トピックとしては2018年、明治維新150年に向け、明治という時代を振り返り、再評価する動きも活性化するでしょうから、 「明治維新・文明開化の、影の立役者＝東三河」 を地域内外に認知させていくのも一案かと思えます。</p> <p>鎖国・攘夷の非を説いた開明的な政治家、渡辺崋山(田原市)。 外国との条約締結の実務を着実にこなした外交官、岩瀬忠震(新城市)。 御一新を支持した、民衆運動「ええじゃないか」(豊橋市)。</p> <p>近代以前において、世界史の中でも稀な、混乱を最小限にとどめながらの政権移行である明治維新は、天皇の権威と、薩長土肥の軍事力のみをもって達成されたのではなく、東三河の先人たちの先見的な行動の積み重ねの上に実現できたのだ!と私たち自身が胸を張りながら、郷土をアピールできたらよいと思います。</p> <p>(上記は3市のメインコンテンツの一つですから、効果的に連携できるのでは。また、愛知県全県という観点からは、明治政府にとっての逆賊である徳川家発祥の地・三河(実質は西三河)と、御三家筆頭・尾張が合体した県であることから、こういうPR手法は採らないのでは。県内でも東三河独自のアピールとして適当です。)</p> <p>これは、ほんの一例ですが、今後、東三河の複数の地域資源を結びつけたテーマを設定してのPR手法につき、広くアイデアも募集してみたいかと思いますが。(8市町村8種の資源を一度に無理につなげなくても、2市町村以上の連携テーマをたくさん見つけて行きながら、一体感の醸成へとつなげていきましょう。)</p>	<p>「1(2) 新東名開通により変化する観光客の動きへの対応」や「2(1) サービスの質を向上し「稼ぐ力」を創出」など、プランの推進に取り組む上での参考にさせていただきます。</p>